



週報

【No.603 2013/8 第4例会】

第2744回例会

2013年8月30日(金) 12:30~13:30

司会者: 奥嶋 正衛君

ソング: 「我等の生業」

卓上花: トルコキキョウ・ゴットン

ゲスト及びビジター: 安城警察署生活安全課長 警部 水谷 篤 様



2013-2014年度RIテーマ:

「ロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を」

安城ロータリークラブ会長方針:

「充実したロータリーライフを楽しもう。」

■会長: 都築 雅人

■幹事: 神谷 研

■クラブ会報: 青山竜也・川合昭道・加藤英明

■創立日: S 33年1月10日

■RI加盟認証日: S 33年2月6日

例会日: 毎週金曜日

例会場: 碧海信用金庫本店3F

安城市御幸本町15-1

TEL: 0566-75-8866

FAX: 0566-74-5678

Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP: http://www.anjo-rc.org

■会長挨拶

都築 雅人会長

《あいさつ》

医学豆知識③

iPS細胞 「iPS臨床研究 承認」

「厚生労働省の審査委員会は人工多能性幹細胞(iPS細胞)を使って目の網膜細胞を再生する世界初の臨床研究を承認した。対象患者(加齢黄斑変性症)6人の募集が年内にも始まる見込み。」

iPS細胞 (induced pluripotent stem cell)

2006年、京都大学の山中伸弥教授らが開発し、論文発表した。2012年、ノーベル医学生理学賞を受賞。先端医療技術として、臓器移植・人工臓器・再生医療等がある。

iPS細胞(人工多能性幹細胞)

自分の皮膚などの細胞に4つの遺伝子を与えて初期化し、多能性を与えたもの。他人の受精卵を操作するこれまでのような方法ではなく、自分の細胞から作られる。そのため、拒絶反応がなく、倫理的問題は少ないが、がん化の危険性が心配されている。今回の新聞記事は、あくまで臨床研究が始まるという内容であり、いつ実用化されて、いつ頃から保険診療で行われるようになるかは全く不明で、当分先の話し。

なお、小文字の“i”はiPadやiPhoneにあやかっただもの。

臓器移植が必要となりうる 代表的疾患の患者数

①人工透析 (腎不全等の医療費 1兆2938億円)	25.7万人
②肝硬変 (アルコール性を除く)	8.8万人
③心臓症	4.1万人

出典
①日本透析医学会 (平成18年)
②厚生労働省調査 (平成14年)



【9月のクラブ内例会・委員会予定】

- 6日 ガバナー補佐訪問
ガバナー補佐 神谷正康(かみやまさやす)様 分区幹事 小出道治(こいでみちはる)様
地区副幹事 杉田明弘(すぎたみつひろ)様
* 第2回クラブアッセンブリー
* ニーニーエイさん来訪
- 13日 クラブフォーラム 青少年奉仕委員会
安城学園高等学校IAC活動費贈呈
- 20日 卓話担当 杉浦 實君
卓話者 日清製粉(株)名古屋営業部 部長 吉田昌弘様
テーマ「小麦粉と麺」
- 27日 ガバナー公式訪問合同例会(安城RCホスト)

《9月の行事予定・地区会議》

- 1日 地区青少年サミット 12:30～キャスルプラザ 市川青少年奉仕委員長
- 8日 RLI会議 9:30～17:00 星城大 永谷会長エレクト
- 12日 米山奨学会総会 16:00～キャスルプラザ ニーニーエイ様さん 奥田奨学生カウンセラー
- 17日 地区R財団会議 17:00～川本 神谷研地区財団会計長
- 19日 地区RCC交流会 15:30～名鉄グランドホテル 永谷地区RCC委員長 内藤社会奉仕委員長
- 26日 安城商工会議所60周年式典 12:30～文化センターマツバホール 都築会長

■ 幹事報告

神谷 研幹事

- ・本日例会終了後に第3回定例理事会を行います。
- ・昨年度の報告書ができあがりました。
- ・会員名簿ができあがりました、受付にございますのでおひとり一冊お持ち帰りください。
- ・8/27(火)第1回安城RCゴルフコンペ優勝は石川義典君です。
- ・9/6(金)例会終了後ガバナー補佐の参加による、第2回クラブアッセンブリーを行います。
理事・委員長の方は計画書持参で出席をお願いします。
- ・9/15(日)愛知学泉ウインドオーケストラ「第2回メモリアルコンサート」のご案内が来ております。
チケットの必要な方は9/6までに事務局に申し出てください。チラシは回覧いたします。
- ・10/8(火)第2回安城RCゴルフコンペをザ・トラディションにて行います。締切9/20
- ・10/29(火)七親会ゴルフコンペがロイヤルカントリークラブにて行われます。締切9/6
- ・11/17(日)ガバナー補佐杯が葵CCにて行われます。締切9/13
- ・観劇同好会より 10/20(日)「錦秋名古屋顔見世」観劇会を企画いたしました。ご参加ください。

■ 報告事項



第1回安城RCゴルフコンペ優勝者
石川義典君へカップの贈呈

おめでとうございます！！

会員	59名
出席義務者	48名
出席	41名
欠席	7名
出席免除者の出席	7名
出席率	87.27%
修正出席率	8月9日 第 2742回 92.98%



■ 卓話

担当 : 加藤 弘君

卓話者 : 安城警察署生活安全課長 警部 水谷 篤 様

テーマ : 「詐欺について」

本日は、安城ロータリークラブの皆さんに、現在全国的にも多発している「振込め詐欺」について、愛知県や安城署管内の情勢と手口などについて話をさせていただき、皆さんの身近な人から被害者が出ないために参考にできればと思います。

まず、振込め詐欺とは、次の4つに分類されます。1つ目がオレオレ詐欺、2つ目が架空請求詐欺、3つ目が融資保証金詐欺、4つ目が還付金詐欺です。

昨年平成24年中に振込め詐欺被害は、愛知県内で 178件 約3億8千万円発生しました。では、安城署管内ではどうかと言いますと昨年 5件 約580万円の被害でした。

本年は、6月末現在、県内では 130件約4億5千万円、安城署管内では、現時点 5件500万円です。

最近の手口についてお話しします。手口の初めは、以前とほとんど変わりません。まず、息子などを騙って「携帯電話を落とした、壊れたから番号が変わった。風邪を引いて声がおかしい」などと連絡があります。後日その携帯から「小切手を落とした。盗まれた。首になる」などと連絡があり、騙された場合、今までなら口座に振り込むように指示されるのですが、「代りのものを行かせる。バイク便を行かせる。」などの手渡しさせることが増えています。口座は、一度使うと直ぐに凍結されたり、現金を引き出す際、捕まることがあるからだと思われれます。特に最近変わった手交型がありました。現金の受け渡しは東京駅でした。名古屋と新潟、長野で発生しました。何故かお分かりでしょうか？いずれも東京まで2時間前後で行ける場所です。知らない場所に呼び出し現金を交付させるわけです。新聞報道などでご存知かと思いますが、「だまされたふり作戦」と言うのがあります。これは、詐欺の電話に対して騙されたふりをして犯人の逮捕に結びつけようというものです。最近この方法を逆手にとって「警察官が周りを見ているから大丈夫。安心してください。」などと話し、現金を交付させる手口がありました。警察の取り締まりに対抗して新たな手口がどんどんと増えています。

被害にかかった人は、後で調査しますと皆「振込め詐欺」のことは良く知っています。こんな詐欺に掛かるわけが無いと思っている人たちです。それでも掛かるのは、この犯罪が家族愛を利用した卑劣な犯罪だからです。「子供を・孫を守らなければ」と言う気持ちがこの詐欺の罠に掛かってしまうのです。

電話番号が変わった。別のものが取りに行く。カードを預かる。必ず儲かる。は詐欺だと思ってください。家族の絆を深め振込め詐欺の被害者とならないように家庭内で話をしましょう。

今「振込め詐欺について」簡単に話させていただきました。今日聞いたことを家庭や職場に持ち帰り、話題としていただき皆さんが被害者とならないようにしてください。

